

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	【留】日本事情A(0594)
科目基礎情報					
科目番号	3E21		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	3	
開設期	春学期(1st-Q)		週時間数	1st-Q:4	
教科書/教材	授業中配布する資料				
担当教員	齋 麻子,佐伯 彩,平川 武彦				
到達目標					
日本で、八戸で、八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できるようにする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	日本で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。		日本で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		日本で生活するために必要な知識を学び、活用できない。
評価項目2	八戸で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。		八戸で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		八戸で生活するために必要な知識を学び、活用できない。
評価項目3	八戸高専で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。		八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP5◎ ディプロマポリシー DP6◎					
教育方法等					
概要	【開講学期】春学期週4時間 日本および八戸で円滑に生活できるための知識を得る。 八戸高専での学業を円滑にできるように基礎的な知識を得る。				
授業の進め方・方法	日英対訳の文献を基礎資料としながら、日本への理解を深める。八戸市内については、可能な限り校外で実践的な活動を行うことで理解を深める。学業の礎となる活動については、チューターなどの協力を得ながら理解を深める。 授業方法として、集中講義として、八戸市内外を散策することもある。				
注意点	積極的に参加することが最も重視される。 日本での生活に早く慣れるために、基本的に日本語による自発的な会話を心がけること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	①ガイダンス/八戸高専を知ろう ②八戸高専を知ろう	提示された課題を理解できる。 八戸高専の主な施設などを理解できる。	
		2週	③④八戸市はどんなところ?生活の場として	八戸市で生活できる基礎的な知識を把握する。	
		3週	⑤⑥八戸市はどんなところ?青森県の、東北地方の、日本の、中での八戸市	八戸市の地理を把握できる。	
		4週	⑦⑧学業の上で必要不可欠な言語を探そう	専門科目の日本語の語彙を把握できる。	
		5週	⑨⑩学業の上で必要不可欠な言語を理解しよう	専門科目の日本語の語彙を把握できる。	
		6週	⑪⑫八戸(日本)とふるさと(母国)の違いを見つめよう	日本と母国の文化の違いを把握できる。	
		7週	⑬⑭八戸(日本)とふるさと(母国)の違いを見つめよう	日本と母国の文化の違いを把握できる。	
		8週	⑮まとめ	日本と母国の文化の違いを把握して、他者に日本語で伝えることができる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			課題提出等	合計	
総合評価割合			100	100	
基礎的能力			100	100	
専門的能力			0	0	
分野横断的能力			0	0	